

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	5
事業名	土地改良事業	会計	款	項	目
		一般	6	1	4
施策	5 賑わうまち	課名	産業課		
	5-1 働きがいのあるまちをつくる	係名	土地改良係		
	5-1-1 農業の振興				
主要施策					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	1	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	2	事業の性質上、指標設定は馴染みません。							
	3								
	4								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			27,573		18,238		21,912		
財源内訳	直接事業費 A		23,283		13,948		17,622		
	うち一般財源		23,151		12,894		12,234		
人件費 (千円) B			4,290		4,290		4,290		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.65	4,290	0.65	4,290	0.65	4,290	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画		③取組の課題	農業用水利施設の維持管理及び更新時には多額な費用を要するため、町財政に影響が少なるよう適正な負担割合の平準化を図る必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	・神田3期及び4期の改修工事を県により実施。 ・農村地域防災・減災事業 (ため池等整備事業) として、ため池耐震調査の実施要望を県へ行った。	④今後の改善計画	県、土地改良区と慎重に協議を重ね、補助の目的、支出根拠、負担割合等を明確にし、必要となる協定または規定により定義する。